

Mate

省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型

(Windows 2000 Professional/

Windows NT 4.0 セレクタブルモデル)

はじめにお読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

本機ではWindows 2000 Professional(以降、Windows 2000)またはWindows NT Workstation 4.0(以降、Windows NT 4.0)のいずれかのオペレーティングシステム1つを使用できます。はじめて本機の電源を入れたときに、使用するオペレーティングシステムを選択してください。選択しなかったオペレーティングシステムをご利用になる場合は、ライセンス取得のため別途オペレーティングシステムをご購入していただく必要があります。

以降の[A]は、省スペース型のMA10T/E、MA93T/E、MA70H/Eの場合を表します。[B]は、省スペース型のMA10T/C、MA86T/C、MA70H/C、MA70H/Lの場合を表します。なお、本書に記載のイラストはモデルにより異なります。

操作の流れ

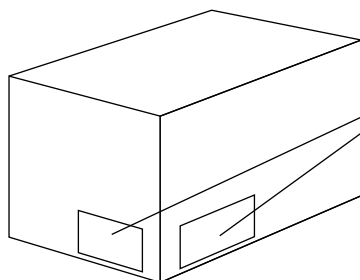
- 1 添付品の確認 2
不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。
- 2 設置場所の決定 14
設置する場所を決めます。
- 3 添付品の接続
使い始めるのに必要な機器を接続します。本体の型を見て、本書の各型のページをご覧ください。接続する前には、必ず添付の『安全にお使いいただくために』をお読みください。
省スペース型の場合 16
デスクトップ型の場合 31
ミニタワー型の場合 39
- 4 Windowsのセットアップ 48
はじめて電源を入れるときには、Windowsをセットアップします。
- 5 お客様登録 57
お客様の登録をします。
- 6 マニュアルの使用方法 57
添付されているマニュアルの使い方について説明しています。
- 7 使用する環境の設定と上手な使い方 61
使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。

1

添付品の確認

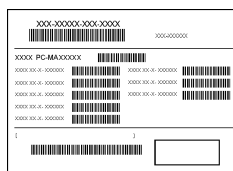
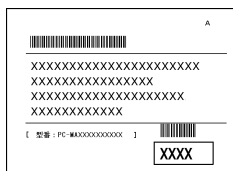
型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセクション型番と呼びます)またはフリーセクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、他のオペレーティングシステムをセットアップするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。



ステッカー
(ステッカーは梱包箱側面
2カ所に同じ物が貼りつけ
られています)

フリーセクション型番の場合は、型番を控えずに梱包箱をなくしてしまうと他のオペレーティングシステムをセットアップする際に必要な情報が手元に残りません。



左が「スマートセクション型番」、右が「フリーセクション型番」のステッカーです。

スマートセクション型番のステッカーの場合は、「1. スマートセクション型番を控える」へ、フリーセクション型番のステッカーの場合は、P.5「2. フリーセクション型番を控える」へ進んでください。

1. スマートセクション型番を控える

スマートセクション型番を控えめす。控え終わったら、P.10「添付品を確認する」へ進んでください。

① スマートセクション型番を次の枠に控える

A



XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXX

型番: PC-XXXXXXXXXX

XXXX

スマートセクション型番

PC-MA 8

□の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型 番	クロック周波数
	10	1.0 GHz
	15	1.50 GHz
	17	1.70 GHz
	70	700 MHz
	86	866 MHz
	93	933 MHz

CPUの種類を表しています。

✓	型 番	CPUの種類
	H	インテル® Celeron™ プロセッサ
	S	インテル® Pentium® 4 プロセッサ
	T	インテル® Pentium® III プロセッサ

本体の型を表しています。

✓	型 番	本体の型
	C、EまたはL	省スペース型
	M	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

✓	型 番	ディスプレイの種類
	5	DV15A3
	B	F14T62
	C	FE91
	D	DV17D2
	F	F15T53-DF
	J	F17R11

✓	型 番	ディスプレイの種類
	M	F15T52
	S	F15R52
	T	F15R53-DV
	U	F14T63-DV
	V	F15T53-DV
	X	F14T63-DF
	Z	なし

選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

✓	型 番	選択アプリケーションの種類
	1	Office 2000 Personal
	2	Office 2000 Professional
	4	Office XP Personal
	N	Office XP Professional
	Z	なし

CD-ROMまたはCD-R/RW、キーボードの種類を表しています。

✓	型番	CD-ROMまたはCD-R/RW	キーボードの種類
	6	CD-R/RW	PS/2 109キーボード
	A	CD-ROM	テンキー付PS/2小型キーボード (縦置き収納型)
	B	CD-R/RW	USB 109キーボード
	J		テンキー付PS/2小型キーボード (縦置き収納型)
	M	CD-ROM	USB 109キーボード
	T		PS/2 109キーボード

合計メモリの容量、通信機能の種類、グラフィックアクセラレータの種類を表しています。

通信機能の種類とセットで設定されているエネルギースターは、未対応です。

✓	型番	合計メモリ容量	通信機能の種類	グラフィックアクセラレータの種類	注意
	5	512 MB	LAN	GeForce2 MX	
	6		FAX モデム		
	B	64MB	LAN		
	D	128MB			
	E	256MB			
	G	64MB			
	H	128MB			
	J	256MB			
	M	512MB	FAX モデム	チップセットに内蔵	
	N	64MB			
	R	128MB			

注意 グラフィックアクセラレータの種類は、MA10T/E、MA93T/Eに設定されたメニューです。その他の機種には設定されていません。

✓	型 番	合計メモリ容量	通信機能の種類	グラフィックアクセラレータの種類 注意
	S	256MB	FAXモデム	チップセットに内蔵
	U	64MB		GeForce2 MX
	W	128MB		チップセットに内蔵
	X	512MB		GeForce2 MX
	Y	256MB		

注意 グラフィックアクセラレータの種類は、MA10T/E、MA93T/Eに設定されたメニューです。その他の機種には設定されていません。

ハードディスクの容量、筐体アクセントカラーの種類を表しています。

✓	型 番	ハードディスクの容量	筐体アクセントカラーの種類 注意	
			[A]の場合	[B]の場合
	9	60GB	パウダーグリーン	———
	B	40GB	スモーク	ブラック
	C		パウダーレッド	レッド
	D		パウダー バイオレット	ブルー
	E		パウダーホワイト	ホワイト
	G	30GB	スモーク	ブラック
	J	60GB		
	M	30GB	パウダーレッド	レッド
	N	60GB		
	S	30GB	パウダー バイオレット	ブルー
	T	60GB		
	V	30GB	パウダーホワイト	ホワイト
	W	60GB		
	X	30GB	パウダーグリーン	———
	Y	40GB		

注意 筐体アクセントカラーの種類は、省スペース型に設定されたメニューです。デスクトップ型、ミニタワー型には設定されていません。

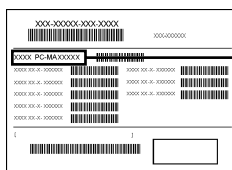
上記の ~ のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

次にP.10「添付品を確認する」へ進んでください。

2. フリーセクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、P.10「添付品を確認する」へ進んでください。

① フレーム型番を次のチェック表にチェックする



フレーム型番

PC-MA ZZ8

☐ の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型 番	クロック周波数
	10	1.0 GHz
	15	1.50 GHz
	17	1.70 GHz
	70	700 MHz
	86	866 MHz
	93	933 MHz

CPUの種類を表しています。

✓	型 番	CPUの種類
	H	インテル® Celeron™ プロセッサ
	S	インテル® Pentium® 4 プロセッサ
	T	インテル® Pentium® III プロセッサ

本体の型を表しています。

✓	型 番	本体の型
	C、EまたはL	省スペース型
	M	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

② コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする



コンフィグオプション型番

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、～
 はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選
 択必須COP)。～ は選択したモデルやオプションによってステッ
 カーに記載されます(選択必須COPおよび任意選択COP)。また、ス
 テッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。

COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

PC-M-KB□□□3はキーボードの種類を表しています。(選択必須
 COP)

✓	型 番	キーボードの種類
	10T	テンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)
	10U	テンキー付きUSB小型キーボード
	PS2	PS/2 109キーボード
	USB	USB 109キーボード

PC-M-1H□□□5は内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディ
 スク(プライマリマスタ)の容量を表しています。(選択必須COP)

✓	型 番	ハードディスクの容量
	030	30GB
	040	40GB
	060	60GB

PC-M-ME□□□5は合計メモリの種類と容量を表しています。(選
 択必須COP)

✓	型 番	合計メモリの種類と容量
	D06	SDRAM 64MB(100MHz)
	D12	SDRAM 128MB(100MHz)
	D19	SDRAM 192MB(100MHz)
	D25	SDRAM 256MB(100MHz)
	D51	SDRAM 512MB(100MHz)
	N06	SDRAM 64MB(100MHz)
	N12	SDRAM 128MB(100MHz)
	N19	SDRAM 192MB(100MHz)
	N25	SDRAM 256MB(100MHz)
	N51	SDRAM 512MB(100MHz)
	R06	RDRAM 64MB(ECC)
	R10	RDRAM 1.0GB(ECC)
	R12	RDRAM 128MB(ECC)
	R13	RDRAM 128MB(64MB×2)(ECC)
	R19	RDRAM 192MB(ECC)
	R25	RDRAM 256MB(ECC)
	R26	RDRAM 256MB(128MB×2)(ECC)

✓	型 番	合計メモリの種類と容量
	R51	RDRAM 512MB(ECC)
	T06	SDRAM 64MB(133MHz)
	T12	SDRAM 128MB(133MHz)
	T19	SDRAM 192MB(133MHz)
	T25	SDRAM 256MB(133MHz)
	T51	SDRAM 512MB(133MHz)

PC-M-CD□□□□は5インチベイに搭載されるファイルベイ用内蔵機器(セカンダリマスタ)の種類を表しています。(選択必須COP)

✓	型 番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	CDD2	CD-ROM
	CDR5	CD-R/RW
	CDS3	CD-ROM
	CRT4	CD-R/RW
	DCR1	CD-R/RW with DVD-ROM

PC-M-NE□□□□4は通信機能の種類、エネルギースター対応または未対応を表しています。(選択必須COP)

✓	型 番	通信機能の種類	エネルギースター
	LAE	LAN	対応
	LAH		未対応
	LAL		
	LAN		対応
	LAR		
	LAV		未対応
	LAW		対応
	LAY		
	MDE	FAXモデム	未対応
	MDM		

PC-M-AC□□□□2は筐体アクセントカラーの種類を表しています。(省スペース型は選択必須COP、その他はなし)

✓	型 番	筐体アクセントカラーの種類
	BKE	スモーク
	BLE	パウダーバイオレット
	BLK	ブラック
	BLU	ブルー
	GRE	パウダーグリーン
	MWE	パウダーホワイト
	MWH	ホワイト
	RED	レッド
	REE	パウダーレッド

DV□□□□、F□□□□□□□はディスプレイの種類を表しています。(任意選択COP)

✓	型 番	ディスプレイの種類
	DV15A3	DV15A3
	DV17D2	DV17D2
	F14T62	F14T62
	F14T63-DF	F14T63-DF
	F14T63-DV	F14T63-DV
	F15R52	F15R52
	F15R53-DV	F15R53-DV
	F15T52	F15T52
	F15T53-DF	F15T53-DF
	F15T53-DV	F15T53-DV
	F17R11	F17R11
	FE91-M	FE91-M 注意

注意 ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには「M」が書かれていませんが、同じ商品です。

PC-M-AP□□□□は選択アプリケーションの種類を表しています。(任意選択COP)

✓	型 番	選択アプリケーションの種類
	MPE4	Office XP Professional
	MSE4	Office XP Personal
	MSW2	Office 2000 Personal
	MSW3	Office 2000 Professional

PC-M-ES□□□1は運用管理アプリケーションを表しています。(任意選択COP)

✓	型 番	運用管理アプリケーション
	ESM	ESMPROクライアントライセンス

PC-M-2H□□□5は内蔵3.5インチベイに搭載される、増設ハードディスク(プライマリスレーブ)の容量を表しています。(任意選択COP)

✓	型 番	増設ハードディスク容量
	030	30GB
	040	40GB
	060	60GB
	E30	30GB
	E40	40GB
	E60	60GB

PC-M-GR□□□1はグラフィックアクセラレータを表しています。(任意選択COP)

✓	型 番	グラフィックアクセラレータ
	GEM	GeForce2 MX

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱や添付品収納箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合があります。

① 箱の中身を確認する

P.3 ①またはP.6 ①、②の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

- ☐ 保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)
保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- ☐ はじめにお読みください(このマニュアルです)
- ☐ 本体(ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMateを指します)
 - ☐ 添付品収納箱
 - ☐ キーボード
 - ☐ マウス

1つにバックされています。



☐ 選択アプリケーション

Microsoft® Office XP Personal、Microsoft® Office XP Professional、Microsoft® Office 2000 Personal、Microsoft® Office 2000 Professional、およびESMPROクライアントライセンス*

箱の中身は、選択アプリケーションの箱の中にあるマニュアルをご覧ください。

(P.3 ❶、またはP.9 ❷、で選択アプリケーションの種類がわかります)

* ESMPRO/ClientManager Ver 2.1/Ver 3.0/Ver 3.1/Ver 3.2、DeliveryManager Ver 4.0/Ver 4.1/Ver 5.0 /Ver 5.2/Ver 6.0/Ver 6.2(ライセンスFD)

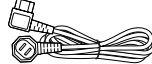
❷ 添付品収納箱の中身を確認する

☐ は、各々1つにバックされています。

☐ アース線



省スペース型の場合添付
☐ サービスコンセント付き
電源ケーブル



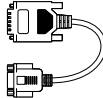
デスクトップ型・ミニタワー型の
場合添付

☐ 電源ケーブル



GeForce2 MXを選択したMA10T/E、MA93T/Eの場合添付

☐ DVI-アナログ変換ケーブル



省スペース型の場合添付

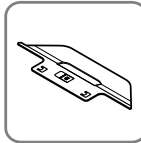
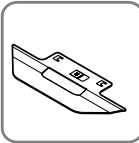
☐ ケーブルストッパ



☐ ネジ(1個)

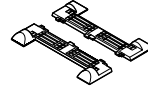
省スペース型[A]の場合添付

☐ スタビライザ(2個)



省スペース型[B]の場合添付

☐ スタビライザ(2個)



☐ スタビライザ取り付け用
ネジ(2個)

デスクトップ型の場合添付

☐ 5インチベイガイドレール(2枚)



☐ ネジ(4個)

☐ セキュリティプレート



☐ ネジ(1個)

通信機能の種類がFAXモデムの場合添付

☐ モジュラーケーブル



- ☐ お客様登録申込書
- ☐ 安全にお使いいただくために
- ☐ 活用ガイド 再セットアップ編
- ☐ NEC PCあんしんサポートガイド



Windows 2000用の添付品

- ☐ Microsoft® Windows® 2000 Professional
クイックスタートガイド



Windows NT 4.0用の添付品

- ☐ Microsoft® Windows NT® Workstation
ファーストステップガイド
- ☐ Microsoft® Windows NT® Workstation
Version 4.0 日本語版使用許諾契約書



- ☐ ソフトウェアのご使用条件/ソフトウェア使用条件適
用一覧
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
- ☐ システムインストールディスク(FD)
- ☐ バックアップCD-ROM
- ☐ アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM

ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RWの場合添付



- ☐ Easy CD Creator™ 4 Standard/
DirectCD™ 3 CD-ROM

ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RW
with DVD-ROMの場合添付



- ☐ Jet-Audio Player CD-ROM 注
- ☐ Easy CD Creator™ 4 Standard/
DirectCD™ 3 CD-ROM

注 本機でWindows 2000を選択した場合にのみ使用できます。

- ③ ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する
(P.3 ① またはP.9 ② でディスプレイのあるなし、種類がわかります。)
- ④ 本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MA XXX...XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「**2** 設置場所の決定」へ進んでください。

2

設置場所の決定

設置場所を決める



安全に関するご注意

添付の『安全にお使いいただくために』をよくお読みの上、注意事項を守って正しくお使いください。



感電注意

- 電源はAC100V(50/60Hz)を使用してください。



発火注意

- 電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
- 電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。



けが注意

- ケーブル類は、つまずかないように整理してください。

○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

温度10 ～ 35

湿度20% ～ 80%

(ただし結露しないこと)

平らで十分な強度があり、落下のおそれがない

(机の上など)

✕ 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなどを含んだMateを指します)の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているものの近く

直射日光が当たる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所

テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く
人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら.....

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。

本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。

通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

本機を移動するときは.....

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶついたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱いってください。

以上で設置場所の決定は完了です。

次のページの「3 添付品の接続」へ進んでください。

3

添付品の接続

接続するときの注意

- ・ 本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない
故障の原因となります。

デスクトップ型の場合はP.31へ進んでください。

モニター型の場合はP.39へ進んでください。

省スペース型の場合

1. 設置

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず1か2のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。



本体を横置きにして使用する場合、FE91は質量が20kgを超えるため、本体の上に置かないでください。

P.18「2. マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

1. スタビライザを2つ取り付ける場合

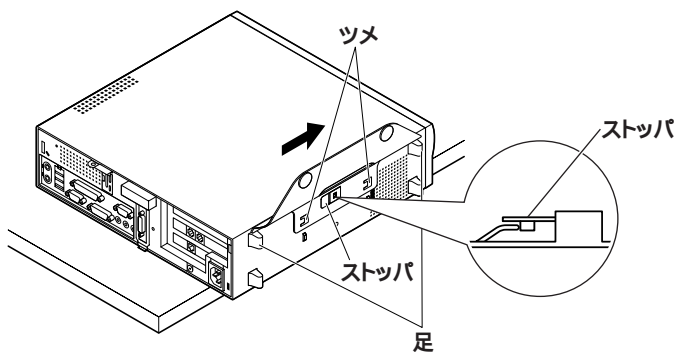
①、②のいずれかの方法でスタビライザを取り付けてください。

①[A]の場合

机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

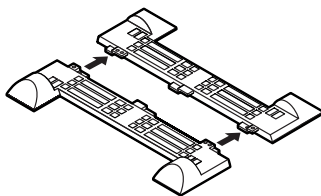


もう一方のスタビライザを 同じ方法で取り付ける

②[B]の場合

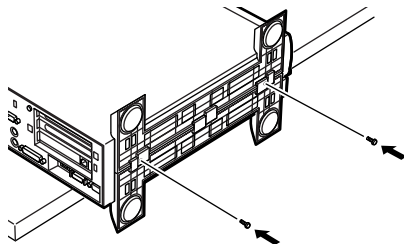
机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

2つのスタビライザを次のようにかみ合わせる



本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り付ける

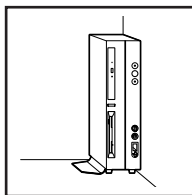
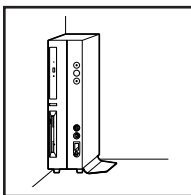
本体を横にするときは、机やテーブルなどを傷つけないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。



2. スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、壁などと反対側の側面のみにスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。イラストは[A]の場合です。

①か②のいずれかの方法でセットしてください。

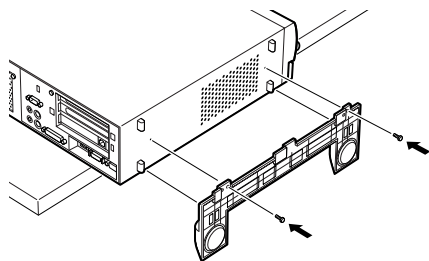


注意

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

①[A]の場合は、P.16「1. スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で1つのみ取り付け

②[B]の場合は1つのスタビライザを、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り付ける

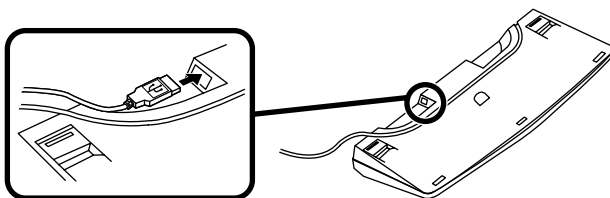


2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、①から③のいずれかで接続してください。

① USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する

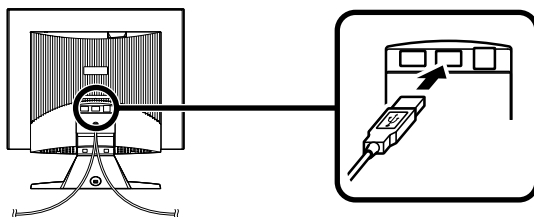


キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

■ 液晶ディスプレイに接続する場合

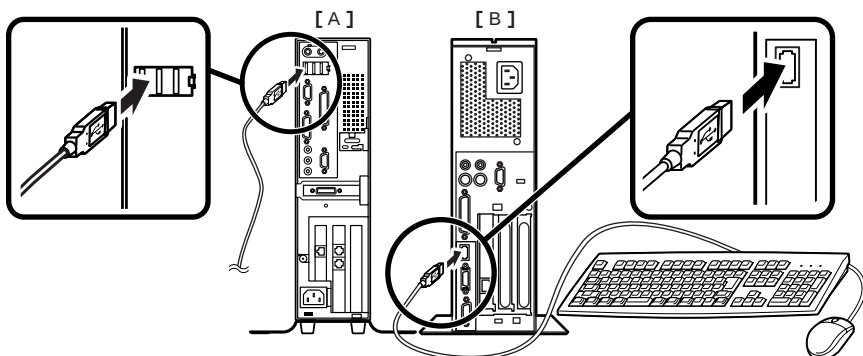
ここではディスプレイ(F14T62)がセットになった場合を例に説明します。

液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。



■ 本体(背面)に接続する場合

MA10T/E、MA93T/E、MA70H/Eで、Windows NT 4.0を選択する場合は、本体背面の3つのUSBコネクタのうち、左から1番目または2番目のどちらかに接続してください。一番右側にあるコネクタおよび本体前面にあるコネクタに接続しないでください。



ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。

[A] のケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』PART2 周辺機器を利用する(省スペース型 MA10T/E、MA93T/E、MA70H/Eの場合))の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

また、[B] のケーブルストッパの使い方は、「PART3 周辺機器を利用する(省スペース型 MA10T/C、MA86T/C、MA70H/C、MA70H/Lの場合))」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

■ 本体(前面)に接続する場合

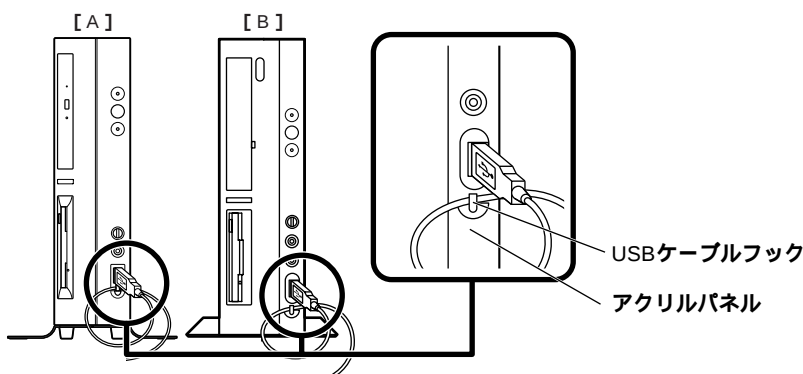
USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

MA10T/E、MA93T/E、MA70H/Eで、Windows NT 4.0を選択する場合は、本体前面のUSBコネクタに接続しないでください。

USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

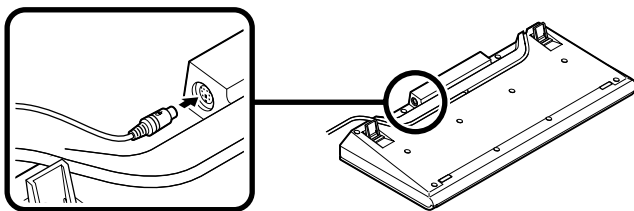


アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードのケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があります。

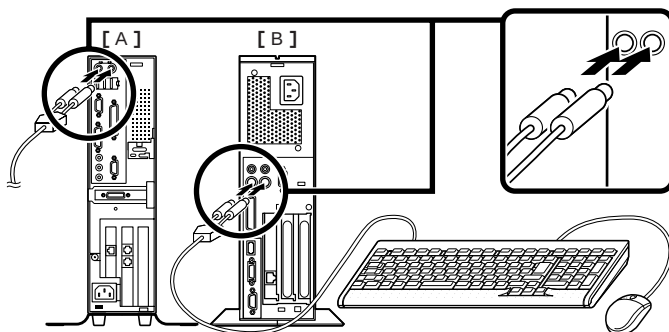


② PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する



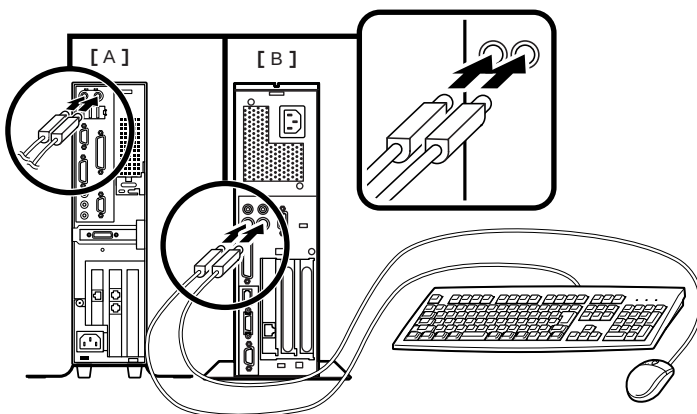
キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難防止に役立ちます。ケーブルストッパの参照先は、P.19「本体(背面)に接続する場合」をご覧ください。

③ PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難防止に役立ちます。ケーブルストッパの参照先は、P.19「本体(背面)に接続する場合」をご覧ください。

3. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の1か2のいずれかの方法で接続してください。

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

1. アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合

①か②のいずれかの方法で接続してください。

①[A]の場合

ここでは、ディスプレイ(F14T62)がセットになった場合を例に説明します。

GeForce2 MXを選択したMA10T/E、MA93T/Eの場合は、～の順番に接続してください。

GeForce2 MXを選択しないMA10T/E、MA93T/Eの場合、またはMA70H/Eの場合は、～の順番に接続してください。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、添付されているDVI-アナログ変換ケーブルのコネクタに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

GeForce2 MXを選択したMA10T/E、MA93T/Eの場合は、DVI-アナログ変換ケーブルのもう一方のコネクタをアイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DVI-I)に接続する

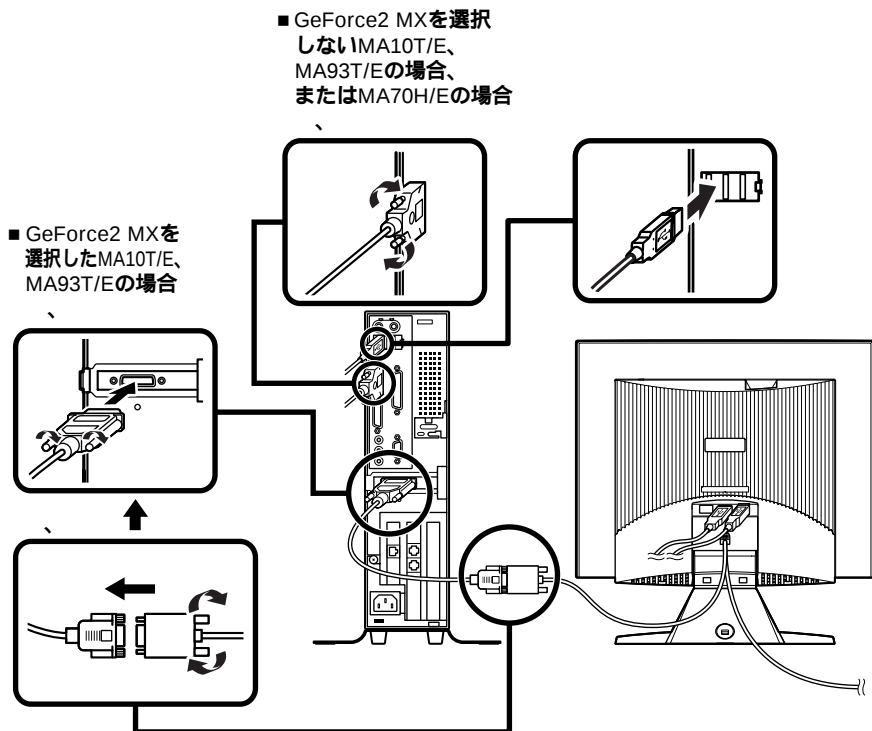
GeForce2 MXを選択しないMA10T/E、MA93T/Eの場合、またはMA70H/Eの場合は、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

DVI-アナログ変換ケーブルのコネクタ、またはビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

Windows NT 4.0を選択する場合は、本体背面の3つのUSBコネクタのうち、左から1番目または2番目のどちらかに接続してください。一番右側にあるコネクタおよび本体前面にあるコネクタに接続しないでください。

Windows 2000を選択する場合、液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



②[B]の場合

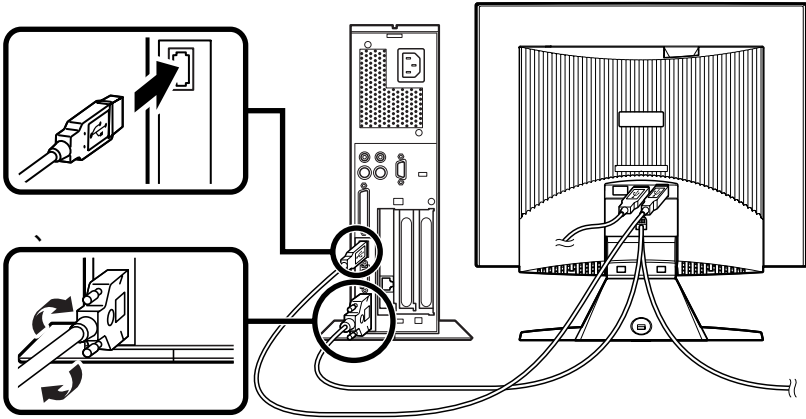
ここではディスプレイ(F14T62)がセットになった場合を例に説明します。

ディスプレイの背面につながつているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止める

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



2. デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

①[A]の場合

ここでは、ディスプレイ(F14T63-DV)がセットになった場合を例に説明します。

GeForce2 MXを選択したMA10T/E、MA93T/Eの場合、ディスプレイの背面につながつているビデオ信号ケーブルのコネクタをアイコン()と、コネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DVI-I)に接続する

GeForce2 MXを選択しないMA10T/E、MA93T/Eの場合、またはMA70H/Eの場合、ディスプレイの背面につながつているビデオ信号ケーブルのコネクタをアイコン()とコネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DVI-D)に接続する

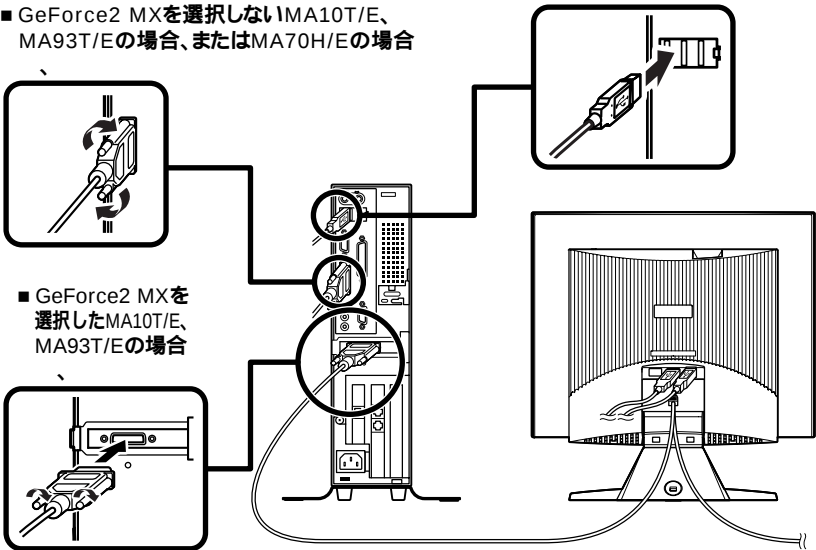
ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止めする

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

Windows NT 4.0を選択する場合は、本体背面の3つのUSBコネクタのうち、左から1番目または2番目のどちらかに接続してください。一番右側にあるコネクタおよび本体前面にあるコネクタに接続しないでください。

Windows 2000を選択する場合、液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

- GeForce2 MXを選択しないMA10T/E、MA93T/Eの場合、またはMA70H/Eの場合



- GeForce2 MXを選択したMA10T/E、MA93T/Eの場合

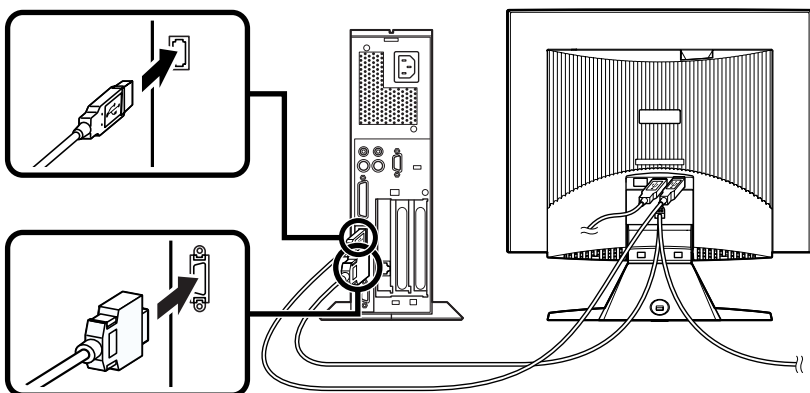
②[B]の場合

ここでは、ディスプレイ(F14T63-DF)がセットになった場合を例に説明します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DFP)に接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを本体のデジタルRGBコネクタ(DFP)に確実にロックされるまで押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する
液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



4. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、①の手順で接続します。

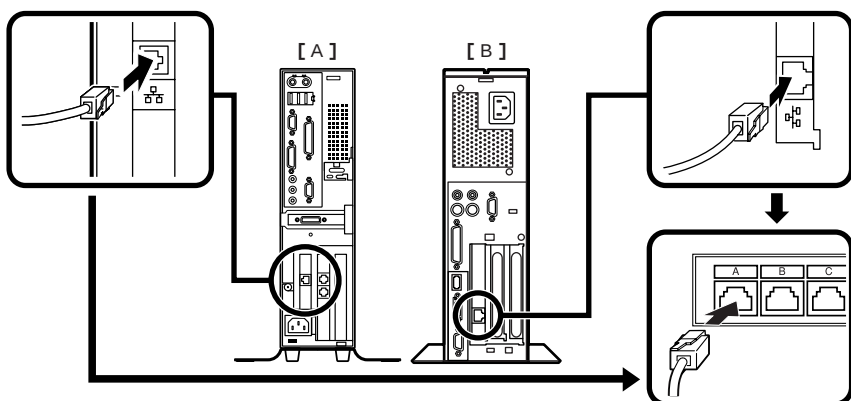
FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、②の手順で接続します。

① リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



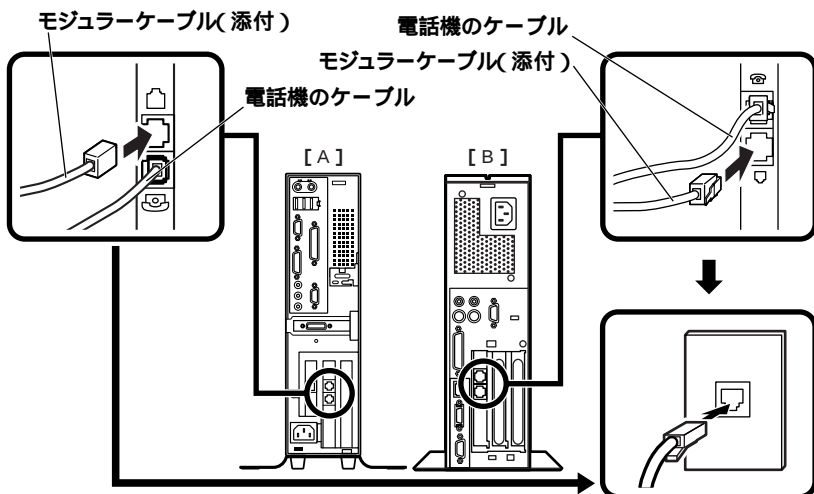
② モジュラーケーブルを接続する場合

- ・ 端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で受けています。
- ・ FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- ・ FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイドハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン(☎)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを本体のアイコン(☎)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



5. アース線、電源ケーブルを接続する

⚠ 安全に関するご注意

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



発火注意

- アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。



感電注意

- アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

本機に添付のサービスコンセント付き電源ケーブルをご使用になる前に、次の注意事項をよく読んでから接続してください。



- サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は接続しないでください。サービスコンセントで供給できる電源の容量は3Aまでです。消費電力の大きな機器などに接続すると、火災の原因となります。



- サービスコンセントにテーブルタップを接続するなどのタコ足配線をしないでください。

次のページのイラストを見て①～③の順番に接続してください。

① アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

② ディスプレイの電源ケーブルのプラグをサービスコンセント付き電源ケーブルに差し込む

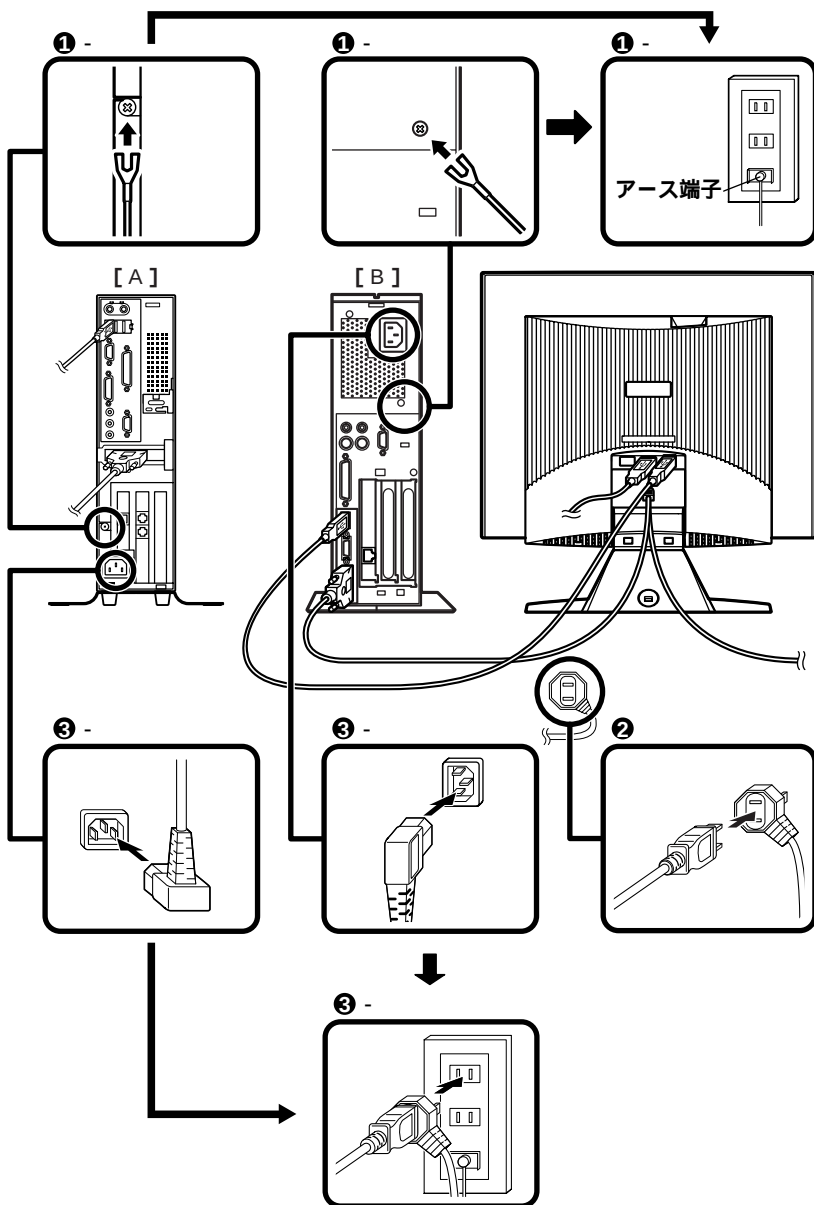
次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F14T62)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

③ 本体の電源ケーブルを接続する

本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。（故障ではありません）



以上で添付品の接続は完了です。

P.48^F 4 Windowsのセットアップへ進んでください。

デスクトップ型の場合

1. 設置

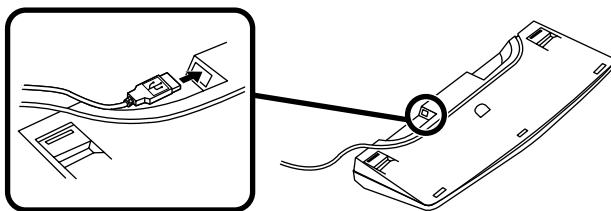
本体のゴム足がある方を下にして設置してください。
本体には、約25kgまでのディスプレイなどを置くことができます。

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、①から③のいずれかで接続してください。

- ① USB接続のキーボードを接続する場合(ここでは、USB 109キーボードを例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する

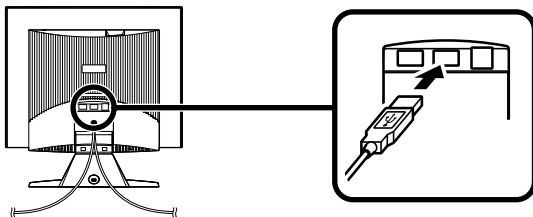


キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

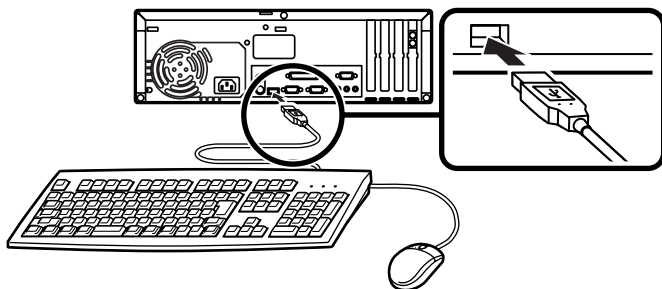
■ 液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F14T62)がセットになった場合を例に説明します。

液晶ディスプレイの背面にあるUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。

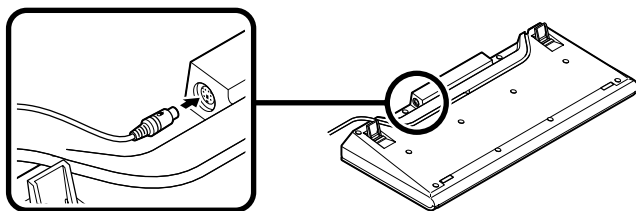


■ 本体(背面)に接続する場合

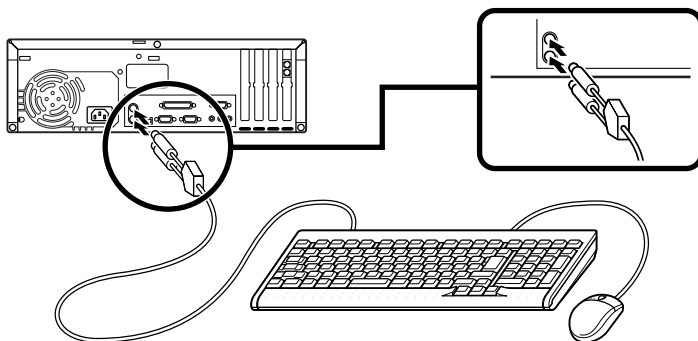


② PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する

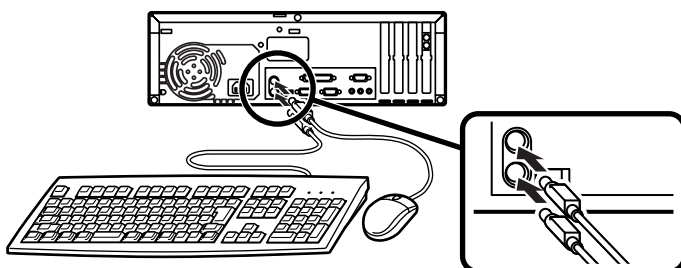


キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



- ③ PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑) キーボード(紫)を本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



3. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の①または②のどちらかの方法で接続してください。

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

- ① CRTディスプレイまたはアナログ液晶ディスプレイを接続する場合
ここではディスプレイ(DV17D2)がセットになった場合を例に説明します。

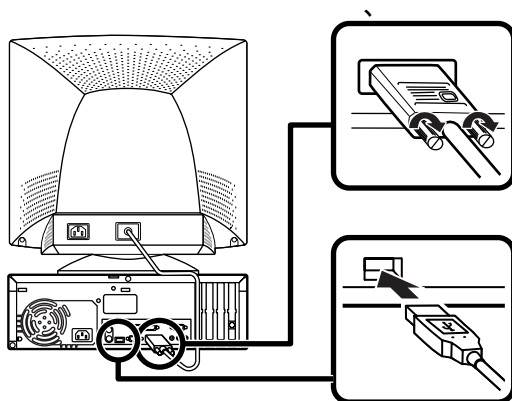
本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なりますので、機種とアナログRGBのコネクタの位置をよく確認してから接続してください。

ディスプレイの背面につながつているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン()とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



② デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

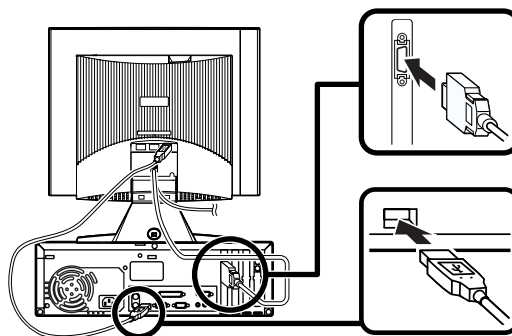
ここではディスプレイ(F14T63-DF)がセットになった場合を例に説明します。

ディスプレイの背面につがっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DFP)に接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタルRGBコネクタ(DFP)に確実にロックされるまで押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



4. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、①の手順で接続します。

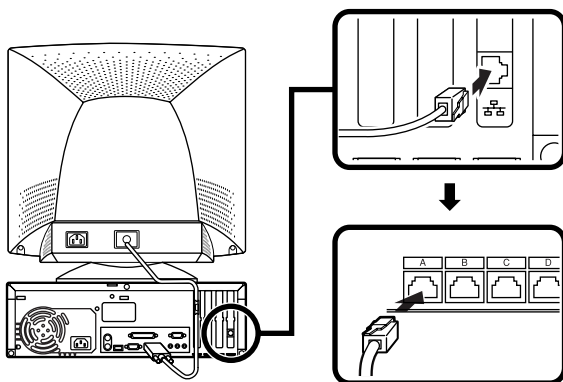
FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、②の手順で接続します。

① リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する



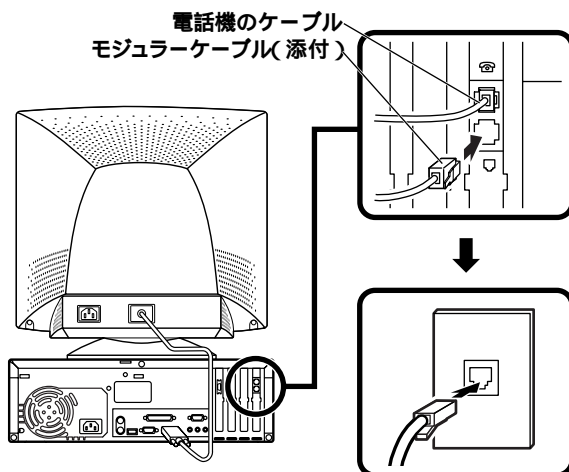
② モジュラーケーブルを接続する場合

- ・ 端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で受けています。
- ・ FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- ・ FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイドハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』『PART1本体の構成各部』の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを、本体のアイコン(品)に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



5. アース線、電源ケーブルを接続する

安全に関するご注意

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



発火注意

- アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。



感電注意

- アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

次のページのイラストを見て、①～③の順番に接続してください。

① アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

② ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイ(DV17D2)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合がありますので、ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

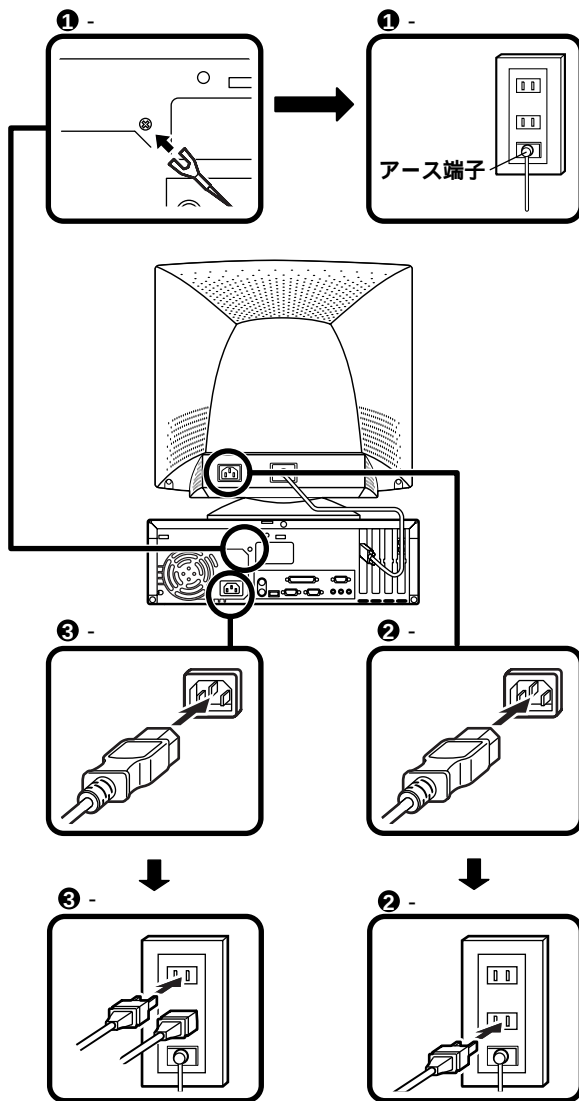
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

③ 本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。

P.48^r 4 Windowsのセットアップへ進んでください。

1. 設置

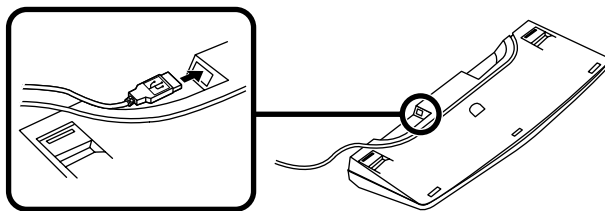
縦置きの場合は、「2. マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。本体を横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約25kgまでのディスプレイなどを置くことができます。本体を横置きにして使用する場合、ファイルベイ用内蔵機器（CD-ROMなど）を入れ替えることで、利用しやすくなります。詳しくは、『ハードウェア拡張ガイド』PART5 周辺機器を利用する（ミニタワー型）「ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け」「フロッピーディスク、CD-ROMなどを使いやすくする（横置きに適した向きの変更）」をご覧ください。

2. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、①から③のいずれかで接続してください。

- ① USB接続のキーボードを接続する場合（ここではUSB 109キーボードを例に説明します）

添付のマウスをキーボードに接続する

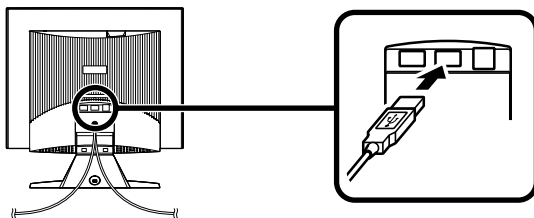


キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

■ 液晶ディスプレイに接続する場合

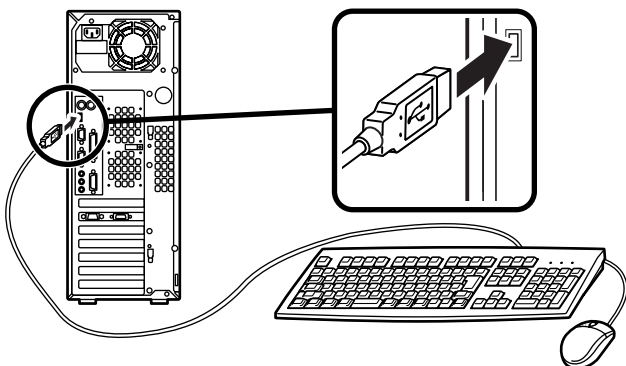
ここではディスプレイ（F14T62）がセットになった場合を例に説明します。

液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。



■ 本体(背面)に接続する場合

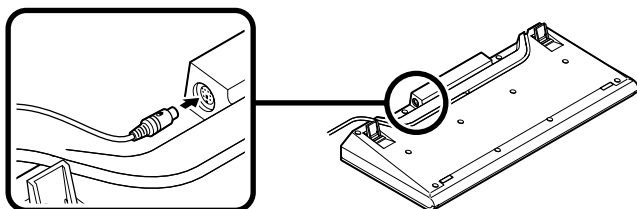
MA17S/M、MA15S/MでWindows NT 4.0を選択する場合、必ず本体背面にある2つのUSBコネクタのどちらかに接続してください。本体前面のUSBコネクタを使えるのは、Windows 2000を選択する場合です。Windows NT 4.0を選択する場合は、本体前面のUSBコネクタに接続しないでください。



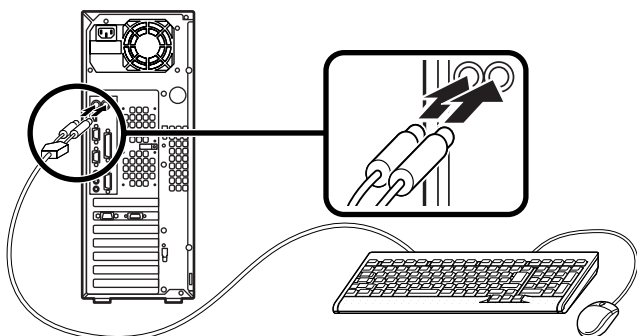
ケーブルストップパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。ケーブルストップパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』PART5 周辺機器を利用する(ミニタワー型)の「ケーブルストップパの取り外し/取り付け」をご覧ください。

② PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

添付のマウスをキーボードに接続する



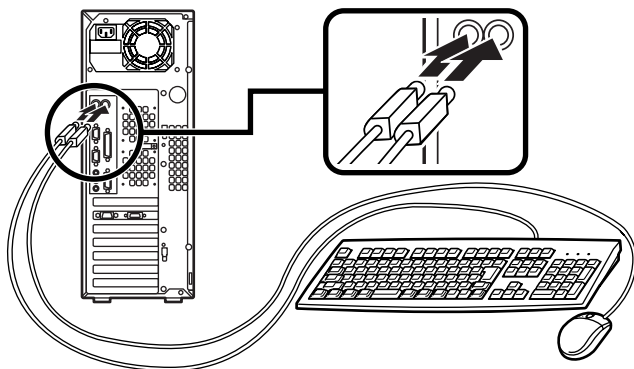
キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難防止に役立ちます。ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』「PART5 周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブルストッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。

③PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)とキーボード(紫)を本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難防止に役立ちます。ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』PART5 周辺機器を利用する(ミニタワー型)の「ケーブルストッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。

3. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより①または②のどちらかの方法で接続してください。

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

- ① CRTディスプレイまたはアナログ液晶ディスプレイを接続する場合
ここではディスプレイ(DV17D2)がセットになった場合を例に説明します。

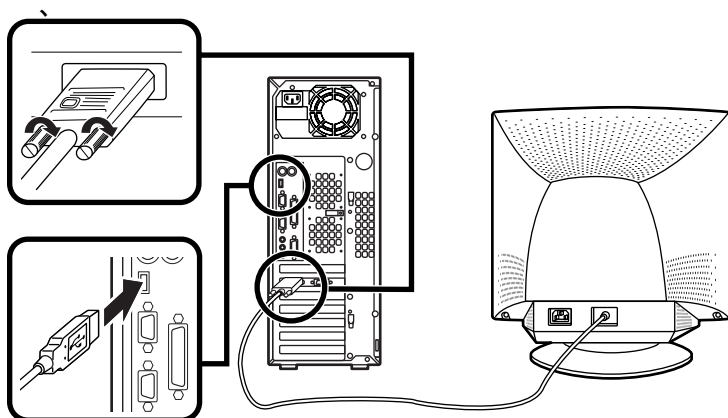
ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のアナログRGBコネクタにアイコン()とコネクタの形状を確認して接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止める

アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

MA17S/M、MA15S/MでWindows NT 4.0を選択する場合、必ず本体背面にある2つのUSBコネクタのどちらかに接続してください。本体前面のUSBコネクタを使うのは、Windows 2000を選択する場合です。Windows NT 4.0を選択する場合は、本体前面のUSBコネクタに接続しないでください。

MA10T/Mの場合、液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。



② デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

MA17S/M、MA15S/Mではディスプレイ(F14T63-DV)がセットになった場合、MA10T/Mではディスプレイ(F14T63-DF)がセットになった場合を例に説明します。

MA17S/M、MA15S/Mの場合、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、刻印(DVI)とコネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DVI-D)に接続する
MA10T/Mの場合、ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコネクタを、アイコン(□)とコネクタの形状を確認し、本体のデジタルRGBコネクタ(DFP)に接続する

MA17S/M、MA15S/Mの場合はビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジでしっかり止める

MA10T/Mの場合は、ビデオ信号ケーブルのコネクタを本体のデジタルRGBコネクタ(DFP)に確実にロックされるまで押し込む

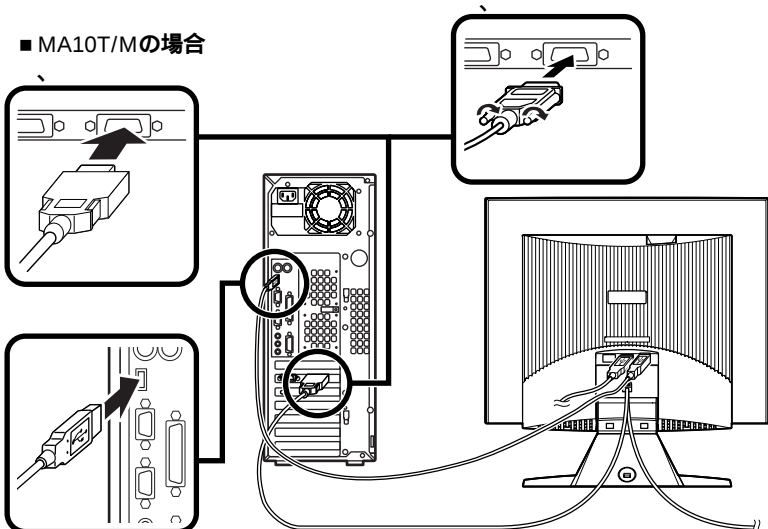
本体とデジタル液晶ディスプレイをUSB ケーブルで接続する

MA17S/M、MA15S/MでWindows NT 4.0を選択する場合、必ず本体背面にある2つのUSBコネクタのどちらかに接続してください。本体前面のUSBコネクタを使うのは、Windows 2000を選択する場合です。Windows NT 4.0を選択する場合は、本体前面のUSBコネクタに接続しないでください。

MA10T/Mの場合、液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

■ MA17S/M、MA15S/Mの場合

■ MA10T/Mの場合



4. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、①の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、②の手順で接続します。

① リンクケーブル(別売)を接続する場合

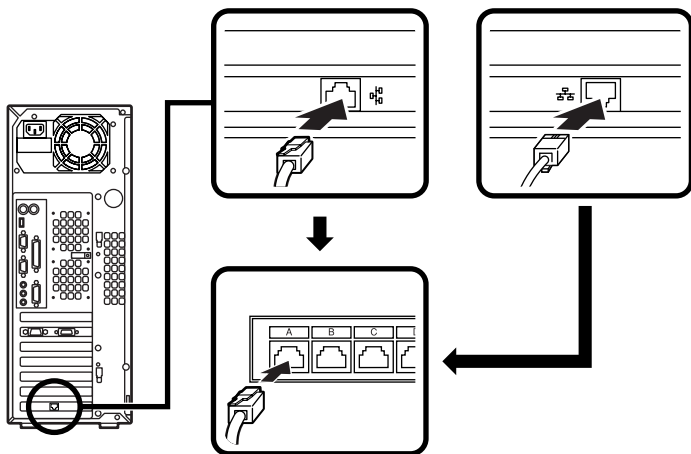
稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン()に従って接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコネクタを接続する

■ MA17S/M、
MA15S/Mの場合

■ MA10T/Mの場合



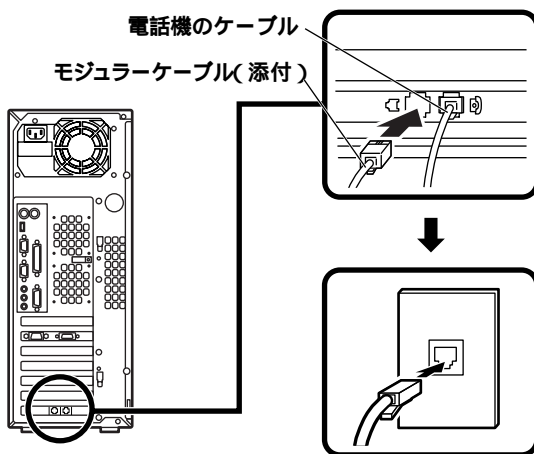
② モジュラーケーブルを接続する場合

- ・ 端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で受けています。
- ・ FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- ・ FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイドハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー - 型』『PART1 本体の構成各部』の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン()に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネクタを、本体のアイコン()に従って接続する

モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネクタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



5. アース線、電源ケーブルを接続する

安全に関するご注意

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店などにご相談ください。



- アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、火災の原因となります。



- アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。

次のページのイラストを見て①～③の順番に接続してください。

① アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

② ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイ(DV17D2)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

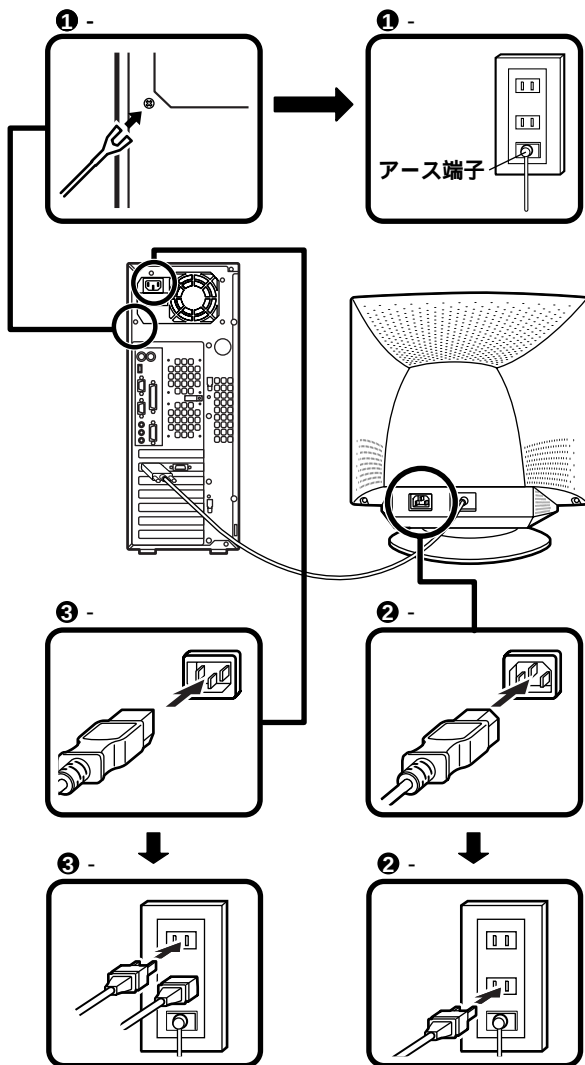
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

③ 本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「**4** Windowsのセットアップ」へ進んでください。

4

Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、ご使用になるオペレーティングシステム(Windows 2000、またはWindows NT 4.0)を選択し、オペレーティングシステムのセットアップの作業が必要です。

セットアップをするときの注意

はじめて本機の電源を入れるときには、使用するオペレーティングシステム(Windows 2000、またはWindows NT 4.0)を選択することができますが、Windowsのセットアップ終了後にオペレーティングシステムを変更したい場合は、ライセンス取得のため別途オペレーティングシステムを購入していただく必要がありますのでご注意ください。

- ・ プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない

この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「4 Windowsのセットアップ」から「7 使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

- ・ 途中で電源を切らない

作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、P.55「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

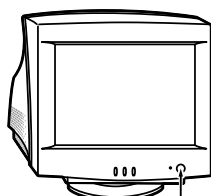
電源を入れる

必ず①、②の順番に従って、正しく電源を入れてください。

- ① ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

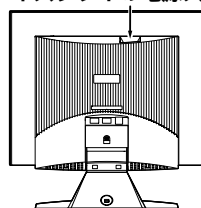
■ CRTディスプレイ(DV17D2) の場合



ディスプレイの電源スイッチ

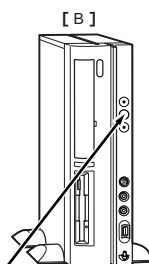
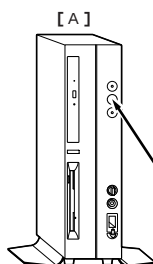
■ アナログ液晶ディスプレイ (F14T62) の場合

ディスプレイの電源スイッチ



② 本体の電源を入れる

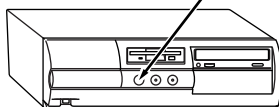
■ 省スペース型の場合



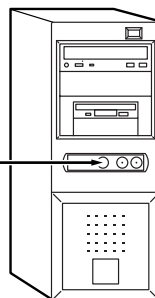
本体の電源スイッチ

■ デスクトップ型の場合

■ ミニタワー型の場合



本体の電源スイッチ



これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。

画面左上に「Starting Windows 98...」と表示されます。これは、オペレーティングシステムをセットアップするためにWindows 98の一部機能を使用しているためです。

- ① 電源ランプが点灯して、「オペレーティングシステムの選択」の画面が表示されたら、使用するオペレーティングシステムを選択して【Enter】を押す

- ② 使用するオペレーティングシステムを確認する画面が表示されたら、表示されている内容をよく確認して【F8】を押す

Ghostについては、システムインストールディスク内の「Ghost.txt」をご覧ください。

以降は、使用するオペレーティングシステムに従って、「1.Windows 2000のセットアップ」または、P.52「2.Windows NT 4.0のセットアップ」に進んでください。

1. Windows 2000のセットアップ

Windows 2000のセットアップを開始します。

- ① 「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

- ② 「ライセンス契約」の画面が表示される

をクリックして続きを見る

内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

「同意しません」ボタンをクリックした場合、セットアップはできません。

「次へ」ボタンをクリック

- ③「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。また、名前は半角英数字で入力してください。ご利用になるアプリケーションによっては、名前に全角文字が使われていると正常に動作しないものがあります。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

「次へ」ボタンをクリック

- ④「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力する

コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力

「次へ」ボタンをクリック

- ⑤「Windows 2000セットアップウィザードの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

- ⑥再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック

- ⑦「このコンピュータのユーザー」の画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「次へ」ボタンをクリック

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ⑧「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

手順⑦で「ユーザーはこのコンピュータを利用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選択した場合、「Windowsへのログオン」の画面が表示されます。

手順④で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

デスクトップ画面が表示される前に「システム設定の変更」の画面が表示される場合があります。その場合はデスクトップ画面が表示されるまで待ち、「Windows 2000の紹介」の画面の「終了」ボタンをクリックしてから、「システム設定の変更」の画面の「はい」ボタンをクリックして再起動してください。

これでWindows 2000のセットアップの作業は終了です。

次にP.54「電源を切る」へ進んでください。

2. Windows NT 4.0のセットアップ

Windows NT 4.0のセットアップを開始します。

セットアップを開始してからしばらくの間、画面が止まっているように見えますが、セットアップ中ですので何も操作せずにお待ちください。

- ①しばらくすると、「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示される

をクリックして続きを見る

内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

「同意しません」ボタンをクリックした場合、セットアップはできません。

「Windows NTセットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

②「名前と組織名」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後は変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

「次へ」ボタンをクリック

③「コンピュータ名」の画面でコンピュータ名を入力する

コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

本機をLANに接続して利用する場合は、コンピュータ名をネットワーク管理者にご相談ください。

「次へ」ボタンをクリック

④「管理者アカウント」の画面でパスワードを入力する

パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。

パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力

「次へ」ボタンをクリック

「Windows NTセットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

途中で何度か画面が変わり、次の画面が出るまでしばらくかかります。なにも操作せずにお待ちください。

- ⑤ 再起動の画面が表示されたら、「コンピュータの再起動」ボタンをクリック

いったん画面が真っ暗になり、自動的に再起動します。

LANボードが搭載されたモデルをお使いの場合、リンクケーブルが接続されていないと、起動時に「1つ以上のサービスまたはドライバが、システム起動時にエラーになりました。」と表示されることがあります。この場合は「OK」ボタンをクリックしてください。
次回リンクケーブルを接続して起動した際、再度このメッセージが表示されなければ問題ありません。

- ⑥ 「ログオンの開始」の画面が表示されたら、キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押す

- ⑦ 手順④で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、③の画面が出るまでしばらく時間がかかります。「ログオンの開始」の画面が表示された場合は、手順⑥、⑦と同様の操作を行ってください。

- ⑧ しばらくしてInternet Explorerの「ようこそ」の画面が表示されたら、各項目の説明を読んだ後、をクリック

これでWindows NT 4.0のセットアップの作業は終了です。
次の「電源を切る」へ進んでください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

1 .Windows 2000の終了

- ① 「スタート」ボタンをクリック

- ② 「シャットダウン」をクリック

- ③ 「次の中から選んでください」の欄で「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

- ④ ディスプレイの電源を切る

①「スタート」ボタンをクリック

②「シャットダウン」をクリック

③ シャットダウンを実行する

「シャットダウンする」をクリック

「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

④ ディスプレイの電源を切る

以上で、Windowsのセットアップは完了です。

P.57「**5** お客様登録」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

- ・ 電源ケーブルの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源ケーブルをコンセントから抜き、本体と電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセントに差し込む
電源ケーブルを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- ・ 電源を入れて、表示される画面をチェックする

■ Windows 2000の場合

CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合もあります。)

セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows 2000は起動しません。Windows 2000を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。

再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

■ Windows NT 4.0の場合

CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合もあります。)

セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。

「Non-System disk」などのエラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windows NT 4.0は起動しません。

Windows NT 4.0を再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。再セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- ・ パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する
電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、P.55「電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

5

お客様登録

登録には、3種類の方法があります(登録料、年会費は無料です)。

- ・ インターネットによる登録
添付の『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。
- ・ 専用ハガキによる登録
添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。
- ・ FAX用紙による登録
添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。

次の「6 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

6

マニュアルの使用方法

本機に添付または「アプリケーションCD-ROM / マニュアルCD-ROM」に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。

また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』『トラブル解決Q&A』の「その他」、『アフターケアについて』をご覧ください。

マニュアルの使用方法

印のマニュアルは、「電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM / マニュアルCD-ROM」に入っています。「電子マニュアル」の使用方法については、P.59「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

- 『安全にお使いいただくために』
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用前に必ずお読みください。
- 『Microsoft® Windows® 2000 Professional クイックスタートガイド』(Windows 2000のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 2000 Professional ファーストステップガイド』でもご覧いただけます)
Windows 2000の全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。

- 『Microsoft® Windows NT® Workstationファーストステップガイド』
Windows NT 4.0の全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。
- 『活用ガイド 再セットアップ編』(Windows 2000 Professional/
Windows NT 4.0セレクトابلモデル)
本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。
- 『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニ
タワー型』(Windows 2000 Professional/Windows NT 4.0セ
レクトابلモデル)
本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンドにつ
いて確認したいときにお読みください。
- 『活用ガイド ソフトウェア編』(Windows 2000 Professional/
Windows NT 4.0セレクトابلモデル)
アプリケーションの概要と削除/追加、他のOSをセットアップする
ときや、トラブルが起きたときにお読みください。
- 『ハードウェア拡張ガイド 省スペース型、デスクトップ型、ミニタ
ワー型、マイクロタワー型』
本体の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機器の取り付けを
行うときにお読みください。
- ディスプレイのユーザズマニュアル
- 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの
場合は、ディスプレイに添付されています(P.2「**1** 添付品の確認」をご
覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。
- 本体とディスプレイがセットになったモデルに添付のマニュアルに
は、Windows 2000の設定方法が記載されていない場合があります。こ
の場合は、Windows 98と同様の設定方法で行ってください。
また、Windows 2000で液晶ディスプレイのUSBハブが正常に接続さ
れていることの確認については、下記の手順に従ってください。
「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
「システム」をダブルクリック
「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタン
をクリック
「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック
「NEC USB Hub」が表示されていることを確認します。
NEC製USB接続キーボード(バスパワーハブ付き)を利用され
ている場合は「NEC USB Hub」が2つ表示されますが、問題あり
ません。

- 選択アプリケーションのユーザーズマニュアル

モデルによって、Office XP Personal、Office XP Professional、Office 2000 Personal、Office 2000 Professionalなどのマニュアルが添付されています(P.2「**1** 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

- 『NEC PCあんしんサポートガイド』

パソコンに関する相談窓口、受講施設、故障時のサービス網やNECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」について知りたいときにお読みください。

————— Microsoft関連製品の情報について —————

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press/>

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

- ① CD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする
 - ② デスクトップ画面の「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック
 - ③ 「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック
- 「Mate 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAcrobat Reader 4.0をインストールしておく必要があります。詳しくはMate 電子マニュアル『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」Acrobat Reader 4.0」をご覧ください。

- ・ あらかじめ、Acrobat Reader 4.0を起動しておいてください。
- ・ アプリケーションエラーが発生した場合は、次のいずれかの方法を行ってください。
 - ・ Acrobat Reader 4.0を再起動する。
 - ・ Windows 2000を再起動する。
 - ・ Acrobat Reader 4.0を削除してから、もう一度追加する。



- ・ 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- ・ Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくとう便利です。
- ・ NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」では、NEC製の電子マニュアルをダウンロードできるサービスを行っております。
<http://121ware.com/>
「レスキュー」→「商品情報検索」→「商品情報」にある、電子マニュアルビューアをご覧ください。
また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

<http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/>

以上でマニュアルの使用方法は完了です。

次のページの「7 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』および『活用ガイド ソフトウェア編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

- ・「Mate 電子マニュアル」を起動して、「補足説明」をクリック
- ・「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をクリック

2. Windows 2000のService Pack

Service Pack 1の削除

Windows 2000をお使いの場合、本機にはService Pack 1がインストールされています。Service Pack 1を削除する場合は、必ず『活用ガイド ソフトウェア編』『アプリケーションの概要と削除/追加』の「「Service Pack」について(Windows 2000の場合)」をご覧ください。削除してください。削除時の注意および削除方法が記載されています。

3. アナログ液晶ディスプレイの調整

液晶ディスプレイ調整ツール

文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレイの調整が必要です。本機には液晶ディスプレイの画面を調整するアプリケーション(液晶ディスプレイ調整ツール)がアプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROMに添付されています。液晶ディスプレイ調整ツールの追加は、『活用ガイド ソフトウェア編』『アプリケーションの概要と削除/追加』をご覧ください。追加が終わったら、アナログ液晶ディスプレイに添付のマニュアルを見ながら調整を行ってください。

4. Securityの設定

スーパバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロック、ファイル暗号化(PGP)など

本機には、本機的不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。その他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』「PART1 本体の構成各部」の「セキュリティ/マネジメント機能」をご覧ください。

また、本機には、ファイルの暗号化/復号化を提供するアプリケーション(PGP)が、『アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM』に添付されています。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

5. データのバックアップの設定

① Masty Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えなくなってしまう、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアップをとるようおすすめします。

本機には、ハードディスクドライブのデータをバックアップするアプリケーション(Masty Data Backup)が『アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM』に添付されています。(添付されているアプリケーションは、モデルによって異なります。)

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」、『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」をご覧ください。

② BIOSセットアップメニュー

「System backup reminder」を設定すると、本機起動時にバックアップを行うように警告を定期的(毎日、毎週、毎月)に出すことができます。省スペース型、ミニタワー型で使用することができます。

詳しくは『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』PART2 システム設定」の「Securityの設定」をご覧ください。

6. 利用する添付アプリケーションの設定

VirusScanなど

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(VirusScan)が「アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM」に添付されています。

本機に添付されているVirusScanでは、新種のウイルスを検出できない場合があります。新種ウイルスに対応するため、ウイルスデータファイル(DATファイル)を更新する必要があります。

この他にも便利なアプリケーションが添付されています。詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加をご覧ください。

7. 運用・管理するための添付アプリケーションの設定

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)、pcAnywhere 9.2 EX、CyberAccess

本機にはパソコンの情報を管理する機能(Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions))、遠隔地からパソコンを操作する機能(pcAnywhere 9.2 EX)、システム管理者向けと一般ユーザー向けの利用環境を設定する機能(CyberAccess)を提供するアプリケーションが「アプリケーションCD-ROM/ マニュアルCD-ROM」に添付されています。(SmallOffice向けモデル(MA70H/L)は、Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)とpcAnywhere 9.2 EXは添付されていません。)

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加をご覧ください。

8. 上手な使い方

① トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A」の「トラブルを予防するには...」をご覧ください。

② 本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』PART4 付録」の「本機のお手入れ」をご覧ください。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows 2000またはWindows NT 4.0および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10) 本書に記載しているWebサイトは、2001年5月現在のものです。

Microsoft、Windows、Windows NT、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、およびWindows NTロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。VirusScanおよびPGPは、米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

PS/2は、IBM社が所有している商標です。

Intel、Pentium、CeleronおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国および他の国々における登録商標および商標です。

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジーを使用しています。

Symantec、Symantecロゴ、Norton Ghost、pcAnywhereはSymantec Corporationの登録商標です。

©2001 Symantec Corporation. All Rights Reserved.

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec, Inc.の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。